



町民に信頼される議会に

栗山町議会議長 鷺川和彦

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成26年の幕開けに当たり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年を顧みますと、本町の基幹産業である農業は、春の融雪の遅れ、7月の高温多照に8月の曇天多雨など不安定な気候による農作物への影響が心配されましたが、その後の天候の回復により概ね良好な結果となり、安堵したところであります。本年も豊作を祈り多くの消費者に喜んでいただけることを切に願います。

また、日本一おいしい米を選ぶ「第3回来一グランプリ」において、「ゆめびりか」を生産した町内2人の生産者がグランプリ、準グランプリを獲得する快挙を成し遂げました。我が町にとつて大変誇りに思える出来事でありました。

その一方で環太平洋経済連携協定(TPP)の妥結に向けて交渉が続いていますが、農業に限らず北海道経済にとつて重大な事柄であり、今後も農業団体はもとより経済団体、消費者団体などとも連携した中で注視していく所存です。当町議会としても国へTPP交渉参加を白紙に戻し、政府試算やその他の情報開示を基にした農業者、商工業者、消費者など国民各層の意見を十分に聞いた上で国民議論を尽くすことを強く要望する意見書を提出しました。

北海道経済の現状を見ますと、日経平均株価が1万5千円台まで回復し、道内の公共工事が大きく増加、国内外の観光客が前年を上回るなど持ち直しの傾向にあります。私たち議会といったしましても、活気溢れる本町の商工業実現のために、継続可能な政策展開と

できる環境づくりを進めてまいります。基幹産業であります農業では、環太平洋経済連携協定(TPP)の交渉のゆくえ、さらには米政策の見直しなどにより、先行きが不透明であります。今後も、各農業団体と連携のもと、あらゆる機会を通じて懸念材料が払しょくされるよう行動してまいります。また、商工業では、依然として景気低迷が続いておりますが、商工業関係者の皆様と力を合わせ、創意工夫のもと、地域経済の発展と雇用の確保に努めてまいります。防災対策では、昨年8月に、姉妹都市角田市との「大規模災害時における相互応援に関する協定」を締結し、12月には陸上自衛隊第7師団第72戦車連隊との「災害時の連携に係る協定」を締結しました。今後は、地域防災計画を見直し、国・道などの関係機関、近隣市町村との連携を図り、町民が安全で安心して暮らせるよう、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

政権も変わり、国の情勢も刻々と変化し続けております。地域主権改革や新しいエネルギー体系の構築、安全保障問題など、日本の政治が大きく変わりつつある今日、本町は依然として厳しい財政状況にあります。行財政改革プラン「がんばる栗山プラン21」に基づき、財政の健全化に向け、引き続き取り組んでまいります。

結びに、町民の皆様には、さらなるご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が明るく健やかな年でありますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

そのような中、4月から消費税増税(現行5%から8%に引上げ)による、私たちの普段の生活に与える影響も心配されるところです。この増税が町民の暮らし・町内経済そして町の財政に及ぼす影響を考慮しながら、今後の町の予算配分、執行状況、さまざまな施策に対して監視していきます。

平成20年度からスタートしたこれらの栗山町のあるべき姿を描いた総合計画が平成26年度を持って終了します。現在、策定中の今後8年間の新たな総合計画では栗山町自治基本条例に基づき、議会の役割と責務を深く認識し議会による政策提案なども織り込みながら町民、行政と一体となつて総合計画原案の作成に取り組んでいきます。

さて、当町議会では昨年、次期改選期における議員定数などのあり方と清潔で信頼される政治と政治倫理の確立を目指すため政治倫理条例の策定を検討して参りました。

2月に予定しています議会報告会では町民の皆様とさらなる議論を深め、さまざまなご意見を頂戴したいと考えておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

いずれにいたしましても本来の主権者である町民の皆様が、議会に積極的な参加をいただき、自らの発意によって自治を構築していただけるよう信頼される議会づくりに努めて参ります。

年頭に当たり、この一年が町民の皆様にとつて素晴らしい年でありますよう心からお祈りを申し上げます。新年のご挨拶といたします。



町民と共に築くまちづくり

栗山町長 椿原紀昭

町民の皆様、あけましておめでとうございます。

平成26年の輝かしい新春を、ご家族お揃いで健やかに迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

私は、町政をお預かりし7年9カ月が経ちました。この間、町民皆様には、政策目標であります「思いやりの心がかよう、元氣のするまちづくりを！」の実現のため、さまざまな場面において、ご支援ご協力をいただいておりますことを深く感謝申し上げます。

昨年は、就任以来、1期目の「基礎づくりの期間」に推進した未来への布石が、2期目の「展開の期間」で、本町自治の新たな動きとして芽吹き始め、それを確かなものにする集大成の1年と位置付け、先人から脈々と受け継がれている伝統と文化を礎に、心新たにまちづくりに取り組んでまいりました。

昨年4月には、公約でありました「栗山町自治基本条例」が制定され、情報の共有と町民が主体となるまちづくりを更に進めてまいりました。

また、本年はまちの最上位計画の「第6次総合計画」を策定する非常に大事な年でもあります。新しいまちの将来像を町民皆様との論議を重ね、次代に誇れる計画となるよう進めてまいります。

昨年を振り返りますと、福祉分野では、オープン1年を迎えました「まちなかケアラズカフェ」では、多くのボランティアの皆様のご協力により、利用者も増加し、大変好評をいただいております。今後も高齢者をはじめ、子どもたちが安心して暮らすことの

できる環境づくりを進めてまいります。基幹産業であります農業では、環太平洋経済連携協定(TPP)の交渉のゆくえ、さらには米政策の見直しなどにより、先行きが不透明であります。今後も、各農業団体と連携のもと、あらゆる機会を通じて懸念材料が払しょくされるよう行動してまいります。また、商工業では、依然として景気低迷が続いておりますが、商工業関係者の皆様と力を合わせ、創意工夫のもと、地域経済の発展と雇用の確保に努めてまいります。防災対策では、昨年8月に、姉妹都市角田市との「大規模災害時における相互応援に関する協定」を締結し、12月には陸上自衛隊第7師団第72戦車連隊との「災害時の連携に係る協定」を締結しました。今後は、地域防災計画を見直し、国・道などの関係機関、近隣市町村との連携を図り、町民が安全で安心して暮らせるよう、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

政権も変わり、国の情勢も刻々と変化し続けております。地域主権改革や新しいエネルギー体系の構築、安全保障問題など、日本の政治が大きく変わりつつある今日、本町は依然として厳しい財政状況にあります。行財政改革プラン「がんばる栗山プラン21」に基づき、財政の健全化に向け、引き続き取り組んでまいります。

結びに、町民の皆様には、さらなるご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が明るく健やかな年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

	■ 農業委員会		町長	椿原紀昭
	会長	田村繁則	副町長	花田正博
■ 監査委員	同代理	高山清明	ほか職員一同	
	委員	谷田進太郎		
■ 選挙管理委員会	委員長	湯地定暁		
	同代理	村上哲		
■ 公平委員会	委員長	砂田正樹		
	委員	志摩隆		
■ 国民健康保険運営協議会	会長	丸山紘司		
	同代理	北輝男		
■ 都市計画審議会	会長	川本正昭		
	同代理	檜崎忠彦		
■ 社会教育委員	委員長	藤井吉美		
	副委員長	小川真寿美		
■ スポーツ推進委員	委員長	永池英彦		
	副委員長	岡山典弘		
■ 議員	議員	岡山典弘		
	副委員長	永池英彦		

謹賀
新年
本年も
ようしくお願ひします

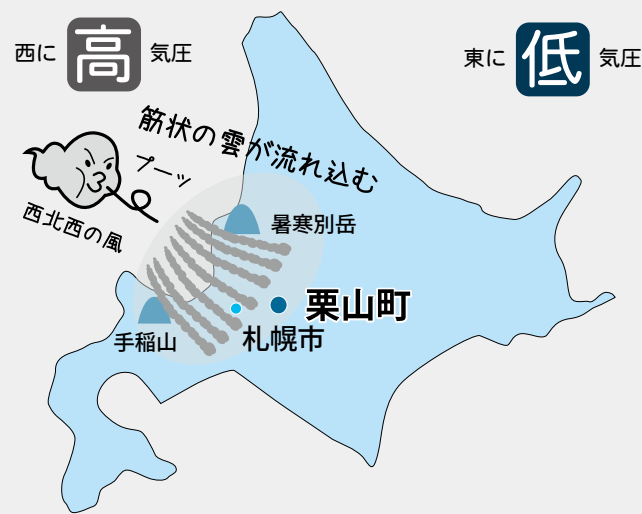


12月から2月ころ

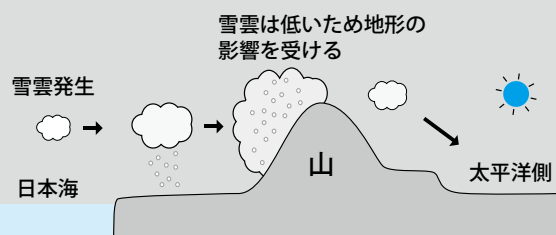
せいこうとうてい

西高東低は大雪が降るサイン

イメージ



冬型の気圧配置によりできた筋状の雪雲が、手稲山と暑寒別岳の間に流れ込む風で運ばれてくると栗山町でも大雪になる可能性が高まります。
※地形や風向きの影響を大きく受けます



西側に高気圧、東側に低気圧が配置されると大雪やふぶきになります。昨年、たくさんの雪が降り社会問題になった岩見沢市より栗山町の降雪量が少なかったのは、風向きと地形によるものです。
また、冬型による雪雲は筋状で『降る・やむ(強い弱い)を繰り返す』特徴があります。外出中にふぶきに見舞われた場合は無理をせず一時的に避難するとよいでしょう。しかし、天気が急変するおそれもありますので注意が必要です。



国道234号(旭台)平成25年12月15日撮影

ふぶきになって視界が悪い時は、一時的に避難するのが有効です。

いま時期の大雪は...

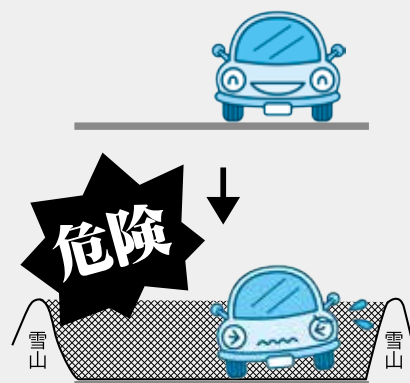
3月ころになると...

3月ころになると...

油断してしまう春先こそ一番危ない

春先には『発達した低気圧』による大雪が多くなります。冬型の気圧配置による大雪やふぶきとは違い『**風向きや雪質が変化**』し、『**長時間続く**』のが特徴です。また、道路わきの積雪が高いため、強風によって大きな吹きだまりができやすく、道路などは埋まってしまう危険性があります。このころになると春の陽気が少しずつ感じられるようになるため「もう雪は降らないだろう」などと油断してしまうかもしれませんが、一番注意しないといけないのがこの時期です。

強風で道路の横にある雪と同じ高さになるくらいまで吹きだまりができ、身動きが取れない状況に...



冬本番はこれから！

冬の暮らしを安全に

大雪の仕組みを知ろう

安全を意識することが大事

北海道に住む私たちにとって、雪の降る冬はとても大変な季節です。特に大雪やふぶきでは、状況が悪ければ命を落としてしまう危険性もあります。

昨年の3月に、道内で猛ふぶきによって車内に長時間閉じ込められた家族が、命をなくしてしまうという痛ましい事故が起きました。しかしこれは、他人ごとではありません。私たちの住む栗山町でも起こりうることです。

空知管内の気象予報を行っている、気象庁札幌管区気象台の加賀主任予報官に、気をつけなくてはならないポイントなどを教えてもらいました。冬の暮らしを安全にするための参考にしてください。

要因によって変わる大雪やふぶき



気象庁札幌管区気象台 主任予報官 加賀俊博さん

栗山町の大雪やふぶきは西に高気圧、東に低気圧が配置される『冬型の気圧配置(西高東低)』による場合がほとんどです。もちろん、低気圧によって大雪やふぶきになる場合もあります。
特に、春先は低気圧が北海道の近くで発達するため要注意です。冬型の気圧配置とは異なり、低気圧がぬけるまで大雪やふぶきが続けるのが特徴です。また、強い風と積もった雪で、道路などが大きな吹きだまりになってしまいとても危険です。

いずれも天気予報などを確認して、悪天候の日には外出を控えることが一番です。

気象庁札幌管区気象台

(札幌市中央区)

私たちの暮らしを守るため、24時間365日、休みなく観測や予報をしています。警報や注意報などの大事な情報をいち早く発表できる体制が整っています。



私たちの暮らしを24時間見守ってくれているんだ！

各分野の団体からのご意見・ご提言

◆高齢社会への対応について

【10年後に予測される状況】

- *現役世代の減少により高齢化率が40%を超えると予測
- *特に75歳以上人口・高齢者単独世帯が増加傾向に



【団体からの主なご意見】

●元気な高齢者の社会参画

- シルバー人材センター設置、「まちなかカフェ」の全町展開など社会参加を促す仕組みづくり
- 公共施設利用料金の低額化・無料化 など

●安心して地域で暮らせるセーフティネット

- きめ細やかな公共交通の充実（通院、買い物など）
- 除排雪の支援（融雪槽の設置補助など）
- 災害対策を含めた全町的な情報インフラ整備（ラジオ、携帯電話端末の活用など）
- 商店街と連携した高齢者向けサービスの充実
- 広域化による救急医療体制、在宅医療の充実 など

◆若者世代の移住・定住対策について

【10年後に予測される状況】

- *若者世代の減少が加速、同時に子ども人口も減少（20～44歳人口：H22年3,151人→H34年2,276人）



【団体からの主なご意見】

●子育て支援、医療費助成制度の拡充

- 出産祝い金の復活（第1子からなど）、保育料の軽減
- 子ども医療費助成制度の拡充（町外通院）など

●教育の魅力向上（ふるさと教育、特色ある教育など）

●若者世代の移住促進施策

- 雇用対策（企業誘致の推進、新規就農支援など）
- 町外通勤・通学費助成、新築・リフォーム助成
- 町住宅分譲地の低価格化など

◆産業振興・その他

●商店街空き店舗対策の充実

●農産物販売の拠点施設整備（市場・道の駅など）

●農業後継者対策の充実（規模拡大、住宅支援など）

●ごみの焼却処理と熱源活用（融雪溝等）の検討

●空き家情報の管理・発信、老朽空き家の解体促進

●継立中学校の跡地活用（企業誘致、合宿施設など）

●栗山高校の間口減少対策（特色ある学科新設など）

●国道234号線跨線橋撤去と企業立地の拡大

●自然、農村環境を生かした都市農村交流の推進

若い人が移住してくるような対策はとれないか。

●他の町から通勤している人がたくさんいるので、住宅を格安で提供するなど、栗山に定住させることを考えてはどうか。

●人口減少を緩やかにするには、若い人を大事にすることだと思う。栗山町は家賃が高いと聞くので、町営住宅の建設や、家賃の補助など、若い人のための対策をして欲しい

町長 長答 企業誘致については、工業団地に大阪の創建や、きのこ総研を誘致しています。また、移住受入事業も

行い、エコビレッジやシャトレーゼのコテージを借り上げ、800人以上の人が移住体験していますが、定住には至らないのが現状です。町外からたくさんの方が通勤しているの、どんな支援をすれば町内に住んでくれるか、具体的な支援策を第6次総合計画において検討していきたいと考えています。

意見 継立中学校の跡地について

●加工場などの企業を誘致してはどうか。

●固定資産税も軽減して、病院を誘致してはどうか。

●災害の備えとして、太陽光発電施設を作ってはどうか

●低額な高齢者住宅を誘致してはどうか。誘致した高齢者住宅に学童保育を併設すれば、学童と高齢者が交流できるので良いと思う。

●活用することはいいと思うが、近くに小学校があり、通学路なので、大型車の往来や頻繁に出入りする外部の人など、安全面に留意した活用方法にしてほしい。

町長 長答 継立中学校の跡地活用については、地域からいろいろな意見を聞きながら、第6次総合計画の中で検討していきたいと考えていま

す。南部地域振興につながる広域幹線道路の整備についても検討する必要があると考えています。

意見 道の駅について

●栗山公園周辺に整備し、道の駅を中心とした栗山の観光の拠点としてはどうか。

●栗山町として大きな施設をつくることは良いと思うが、投資した額を回収できる運営が問題。いろいろ道の駅に行ったが、トイレに入るだけの施設もある。

●道の駅をやってほしいと思うが、国道234号線の苦

小牧岩見沢間は商業圏の道路ではなく、道の駅に向かないのではと思う。作ってほしいが無理ではないか。

町長 長答 道の駅については、やはり国道234号線沿線が適していると思います。が、4車線化とバイパスの問題がありますので、現状で議論することは難しく、第6次総合計画にどう位置付けするかを検討いたします。道内にある他の道の駅の類似施設であれば意味がないと考えていますし、農産物だけではなく、商業と連携した取り組みや既存施設との連携も考えていく必要があります。



町民と“10年後のくりやま”を語る

栗山町第6次総合計画を主要課題とした

まちづくり懇談会を実施

11月25日から12月10日にかけて、計13日間、25会場でもちづくり懇談会を開催しました。集まった町民は延べ307人。栗山町第6次総合計画策定についての質問・意見や、地域課題についてなど、町民と榎原紀昭町長が直接懇談しました。

今回、先に行われた分野別懇談会の意見も含め、主な内容をご紹介します。その他の意見は、町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

意見 高齢者対策について

●高齢者のサポート事業の充実が必要。今後、除雪や買い物など人に頼らないと生きていけないのではないかと考える。

●足腰が悪くなると、色々な施設ができて外出ができない。色々な催し物に行こうにも、ちょうど良いバスが無いから出かけられない場合もある。また、夜は出られない。若い人たちとも会う機会がない。

●長沼の消化器科は玄関先まで来てくれるので、長沼の病院に行くケースもある。町営バスで対応してほしい。高齢者の見守りについては、一般町民が高齢者宅の見守りは難しい。

町長 長答 高齢者のサポート事業については、現在、先駆的な取り組みを実施している社会福祉協議会とも連携し、命のバトン事業やケア

ラー手帳事業、宅配電話帳事業などを進めています。さらに、高齢化が進むなかで、特に一人暮らしの高齢者の対応については、関係団体の皆さんと連携し、住民ニーズにあった事業を展開する必要があります。町営バスについては、バスを小型化し、効率的な運行を進めています。利用人数が少なくても、地域の足として、今後も議論を進めて各地域に合った公共交通のあり方を検討していきたいと考えています。

意見 農業後継者・新規就農対策について

●農地拡大への支援をお願いしたい。高齢化の進行から規模拡大は必然であり、農地の賃貸や売買に関する経費や、機械の大型化も必要である。

●新規就農だけでは、農地の根本的な問題は解決されない。実際に栗山町でも、



30～40人規模の農家も多く、農業後継者による規模拡大を支援することが必要。新規就農対策は必要だとは思いますが、その希望者は施設園芸が中心であり土地利用型ではない。

町長 長答 農業後継者対策としては、現在、本町で農業をしている方が最優先であると考えています。ただし、後継者がいないことで困っている方も多く、新規就農者も受け入れなければなりません。農業振興公社の農地流動化対策（中間保有制度など）と併せ、時代に合った後継者対策・新規就農対策を推進していく必要があると考えています。

意見 人口増対策について

●人口減少を抑えたいが、工場誘致などが進んでいない。宅地を無料にするとか、税金を安くするとかして、

生活と環境

【問い合わせ】 町環境生活課
環境生活グループ ☎ 7510

安全・安心な町を目指して

路面に応じた安全運転を！

「冬期間」（11月～3月）に北海道内で発生した交通事故のうち、凍結路面でのスリップ事故や、ふぶきによる視界不良などが原因となった「冬型事故」はおよそ3割を占めています。

冬道は、夏場の舗装路面に比べてスリップしやすいことをしっかりと自覚するとともに、道路状況にあった運転を心がけましょう。

冬道の安全運転のポイント

○『急』のつく運転操作は絶対にしない。急加速、急ブレーキ、急ハンドルはスピンやスリップを招きます。ソフトな運転操作を心がけ、ゆとりある運転をしましょう。

○早めのブレーキと合図を心がけましょう。冬道では、ブレーキをかけてもスリップして止まれないことが

あります。早めのブレーキでしっかり停止し、後続車には早めの合図で知らせましょう。

○危険を予測して慎重な運転をしましょう。雪道・凍結路では停車距離が非常に長くなります。スピードを控え、車間距離を十分にとつて走行しましょう。

○わたちのある道ではハンドルを取られないように注意しましょう。

○吹雪など視界不良のときは前車の速度に同調し、一定の車間距離を保ち、見えないうちに潜む危険を想定して速度を調整しましょう。

○歩行者を思いやる運転をしましょう。歩行者は、寒さや足元の悪さのため周りをよく見ていなかったり、積雪や除雪により車道を歩く場合があります。歩行者の近くを通過する際は、安全な間隔をとり徐行をするなど、歩行者を守る運転に努めましょう。

飲酒運転の根絶を願います！

栗山町交通安全協会（岩崎俊英会長）が12月12日、飲酒運転追放パトロールを実施しました。警察署や町、関係団体から13人が参加。黄色いたすきを掛けた参加者は、3店舗に分かれ、町内の飲食店34店舗に「やめよう飲酒運転」と書かれた懸垂幕や、飲酒運転追放の趣意書などを手渡し、飲酒運転を追放しようと呼びかけました。



私たちが 栗山青年会議所です。 24

謹賀新年 『愛・意・運・縁・恩を感じ、想造しよう！』

町民の皆さんには日ごろより我われの運動・事業に格別の御厚情を賜りますことと厚く御礼を申し上げます。



本年度、第46代理事長の職を預かります北野数馬です。年初、栗山JCは21人のメンバーのもと『まちづくり』『ひとづくり』をテーマに、まちの活力となるよう邁進する所存でございます。

さて、2014年度スローガンは『愛・意・運・縁・恩を感じ、想造しよう！』としたためさせていただきますました。まちとひとを『愛』し、目的『意』識をもち『運』命を切り拓き、全てのご『縁』に感謝し、ご『恩』をお返しする。そのような想いを指針に、事業・運動を執り行っていくたく存じます。

また、当会は本年、創立45周年の節目を迎えること



となり、先輩諸兄から紡いだ大きな志を胸に、未来に對し子どもたちや、人々がもつともっと希望や夢や勇気を抱き輝いていく機会を創出していく所存です。時代は移り変わっても、変わらないJCの志が故郷には絶対必要であると自負し、記念となる年にしていく所存であります。

本年も変わらぬご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

広告募集

町の封筒で 企業PRしませんか？

【問い合わせ】
経営企画課
行政経営グループ
☎ 73-7503
e-mail:gyouseikeiei@town.kuriyama.hokkaido.jp

お申し込みにあたっての留意事項

「町が発送する封筒」および「知っておきたいまちの予算（平成26年度予算説明書）」に掲載する事業者等の有料広告を募集します。

① 共通公用封筒の使用予定期間については、申し込み件数の状況により、前後することがあります。また、使用予定期間内に封筒を全て使用した場合は、その時点で広告掲載を終了し、期間内に在庫が残った場合は、全て使用するまで広告掲載を延長いたします。

◆共通公用封筒の広告

封筒種類	角2号封筒
発行部数	12,000 枚
使用期間	平成26年4月～平成27年3月
使用内容	汎用封筒（役場各課所、教育委員会、北海道介護福祉学校が配付、発送する公用封筒）
広告規格	1 枠当たり縦 100mm×横 100mm
募集枠数	4 枠
掲載面・位置	封筒の裏面（上下段）
広告料	■ 1 枠 48,000 円 (内訳 @ 4 円× 12,000 枚) ■ 2 枠 72,000 円 (内訳 @ 2 枠 96,000 円× 75%) ■ 1/2 枠 24,000 円 (内訳 @ 2 円× 12,000 枚)

◆知っておきたいまちの予算の広告

広告媒体	知っておきたいまちの予算 (平成26年度予算説明書)
規格	A4、2色刷り、50ページ構成
発行部数	6,400 部
使用期間	平成26年4月～
使用内容	町内全戸配付（6,000 戸） 他主要町有施設に配置
募集枠数	第1種 縦 52mm×横 85mm 第2種 縦 52mm×横 175mm
広告規格	第1種の枠で概ね8枠
掲載位置	冊子下段
印刷色	黒、青（2色）
広告料	第1種 15,000 円 第2種 30,000 円

◆ 申込先・問い合わせ
総務課広報・情報グループ
☎ 7501

1 枠: 1 カ月 15,000 円
2 枠: 1 カ月 30,000 円
※それぞれに継続割り引きの金額が設定されています。

■ 広報くりやま広告



上部バナー: 1 カ月 10,000 円
下部バナー: 1 カ月 5,000 円
※それぞれに継続割り引きの金額が設定されています。

■ ホームページバナー広告

町のホームページのバナー広告や、広報くりやまでも有料広告を随時募集しています。詳しくはお問い合わせください。

ホームページバナー広告・「広報くりやま」でも広告を随時募集しています

議会の動き

第7回栗山町議会定例会において次の議案が審議されました。

議案

- ▼栗山町第5次総合計画の一部変更
主要事業の民間バス路線維持事業の事業期間の変更1件です。
- ▼平成25年度栗山町一般会計補正予算(第7号)
歳入歳出予算に5784万3千円を追加し、総額を83億3385万7千円とするもので、主な内容は、私立保育所運営費負担金等に係る補正です。
- ▼平成25年度栗山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出予算に2512万円を追加し、総額を19億149万8千円とするもので、主な内容は、一般被保険者高額療養費の補正です。
- ▼平成25年度北海道介護福祉学校特別会計補正予算(第3号)
介護福祉学校管理業務委託契約に伴う、年度前入札による債務負担行為の追加です。
- ▼平成25年度栗山町介護保険特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出予算に41万3千円を追加し、総額を13億3087万7千円とするもので、福祉用具購入費の増に伴う補正です。
- ▼平成25年度栗山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算から146万円を減額し、総額を1億7608万円とするもので、後期高齢者医療広域連合納付金の額の確定による補正です。
- ▼平成25年度栗山町下水道事業会計補正予算(第1号)
公共下水道事業債および農業集落排水事業債の企業債の変更などに伴う補正です。
- ▼栗山町立学校施設使用条例の一部を改正する条例
平成26年3月をもって閉校が決定された継立中学校の体育館および屋外体育施設を学校開放事業の対象から除外する条例の改正です。
- ▼栗山町図書館に係る指定管理者の指定について
栗山町図書館の指定管理者については、現在の図書館運営の実態を詳細に把握している関係団体が指定管理者となることに基づき、協議することから、非公募として協議していましたが、指定管理者選定委員会の採決により次の団体を候補者として選定するものです。なお、指定の期間は、平成26年4月1日から平成28年3月31日までの2年間です。
- ▼栗山町中央3丁目栗山地区連合会
財産の無償譲渡について
継立保育所を民間法人に移管し、民設民営で運営するにあたり、継立保育所の建物を無償譲渡するものです。
- ▼公平委員会委員の選任について
岩部洋氏の任期満了に伴い、中川昇氏(朝日3丁目)が選任されました。

諮問

▼人権擁護委員の推せんについて
人権擁護委員として土田清美氏(松風4丁目)が再任されました。

意見書

▼TTP交渉及び日本型直接支払制度、経営所得安定対策等「農政改革」に関する意見書
森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書
本件は可決され、関係省庁へ提出されます。



全国優良活動表彰

栗山町社会福祉協議会(橘一也会長)が、全国社会福祉協議会から優良活動表彰を受賞しました。全国で39団体が受賞され、そのうち道内では唯一の受賞となりました。同社協ではこれまで介護者や高齢者が気軽に立ちよることのできる憩いの場であるまちなかケアラズカフェ『サンタの笑顔』の開設や、介護者に悩みや不安などを取りのぞいてもらうための『ケアラー手帳』を発行するなど高齢社会が抱える問題に対して各地に先駆けて積極的に取り組んできました。



優良従業員表彰



栗山商工会議所主催の優良従業員表彰式が行われました。表彰されたのは、5年、10年、15年、20年、30年以上の勤続者で、11事業所55人。松原正和会長と椿原紀昭町長から表彰状と記念品が手渡されました。

◆15年以上勤続表彰

横岡康弘(伸和機型)、能戸環(E&Cエンジニアリング北海道工場)、柳沢康照、佐藤照行(小室電機)、服部涉(ヘンケルエイブルスティックジャパン北海道工場)、高田健一、佐々木和司、小島実華、菊地圭、坪田大輔、小林英昭、新井梨絵、健名昇(松原産業)、菅原真規子、海上幸子、尾崎政満(日東総業)

◆10年以上勤続表彰

安ヶ原育子、桑原真紀子(東邦製袋)、神山昌士(ヘンケルエイブルスティックジャパン北海道工場)、能代哲也、青木光博、川村裕之(松原産業)、銭谷克則、黒田一(日東総業)

◆5年以上勤続表彰

加藤はるか(谷田製菓)、村上博紀(東邦製袋)、南部志のぶ、福士和美、後藤豊美(スイテック)、平河内寿明(松原産業)、伊月理恵子、千葉茂喜、米谷富行、米谷清美、山本潤一(ワークセンター栗の木)、本間ヨシ子、篠島早苗、溝口廣行(日東総業)

税務署長納税表彰



申告納税制度の普及と納税意識の向上に顕著な功績を称える「平成25年度税務署長納税表彰」で谷田進太郎さん(谷田製菓株式会社代表取締役)が岩見沢税務署長より表彰を受けました。

優良警察官表彰

栗山地区警察官友の会(松原正和会長)が、優良警察官の表彰式を行いました。今年は、松井聡裕警部補と江田正視巡査部長の2人が、管内の治安維持の功績が認められ表彰されました。



後期高齢者医療制度



問い合わせ 北海道後期高齢者医療広域連合 ☎ 011-290-5601
町住民福祉課住民・国保グループ ☎ 73-7508（直通）

■高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度および介護保険から支給されます。なお、手続きには市町村窓口への申請が必要となります。

- 後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。
- 支給額が500円以下の場合は支給されません。

◇自己負担限度額表 【1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日】

負担割合	区 分		自己負担額の合計の基準額
3割	現役並み所得者		67万円
1割	一 般		56万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ（※1）	31万円
		区分Ⅰ（※2）	19万円

- ※1 世帯全員が住民税非課税である方
- ※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）、または老齢福祉年金を受給している方

申請される方は、町住民福祉課住民・国保グループまでお申し出ください。

■医療費通知の送付を希望される方へ

北海道後期高齢者医療広域連合では、発行をご希望される方を対象に、医療費を半年ごとにまとめた医療費通知を送付しています。次回の発行は平成26年3月末（平成25年7～12月診療分）に行います。

◇新たに発行をご希望の方はご連絡ください

新たに発行をご希望の方は、お手数ですが北海道後期高齢者医療広域連合または町住民福祉課住民・国保グループへご連絡ください（電話でのご連絡だけで手続きできます）。



- すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方につきましては、継続して発行しますので、再度のご連絡は必要ありません。
- この通知を受け取られたことにより、申請などの手続きをされる必要はありません。
- ※この通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。



民生委員児童委員 主任児童委員を改選

平成25年12月1日に、民生委員児童委員・主任児童委員が改選されました。任期は3年です。また、今回の改選で、各委員が担当する区域が一部変更されました。あなたがお住まいの地区を担当する委員は次のとおりです。

【問い合わせ】
町住民福祉課福祉・子育てグループ ☎ 73-2222

氏 名	担 当 区 域	電話番号
青木 明光	松風第1・松風第2・寺町	72-4513
加藤 馨	松風本町・松風第5・松風第6	72-3094
藤澤千恵子	松風第7・松風第8・松風第9	72-3594
木戸 英友	松栄・青葉	72-3726
中井 幸範	睦	72-3497
坂井 亨	7区・8区・9区	72-4391
得地 康則	12区	72-2814
後藤 忠弘	2区・3区・4区	72-2494
富澤 勇	5区・6区	72-5532
丸山 紘司	南（南町内会7～10班）	72-0683
山内 道昭	南（南町内会2～6班）	72-5340
渡辺 操	中央	72-1959
坂井 雅子	錦地区（10区・北区・栗山農事※道道北側）	72-2447
中村美恵子	錦地区（西区・雇用促進住宅・栗山農事※道道南側）	73-3300
角田 伸慶	山の手・桜丘	72-1093
島 武美	朝日3丁目（朝日町内会6～10班）	72-2666
佐藤 暁美	朝日2・3丁目（朝日町内会1～5班）	72-6824
荒木 靖允	朝日4丁目（朝日4丁目町内会1～6班、12～13班）	72-3591
富山 政枝	朝日4丁目（朝日4丁目町内会7～11班・14班・町内会に属さない区域）	72-6310
長尾 康博	富士（南町内会除く）	72-4531

氏 名	担 当 区 域	電話番号
榎本 孝子	中里（角田幹線排水路東側）	72-0114
亀田 博	中里（角田幹線排水路西側※中里団地・新里町内会を除く）共和・三日月	72-3985
伊達 桃代	中里団地・新里	72-0664
北山美智子	湯地	72-5068
背戸 孝義	雨煙別・緑丘	72-4568
菱谷 栄次	鳩山・森	72-4816
宮田 正弘	北学田・桜山	72-4434
本田 諭	杵臼・旭台	72-4452
月輪 淳裕	角田（第1町内※国道東側・第5町内）	72-0257
岩部 洋	角田（第3町内・曙団地）	72-1019
橋元久美子	角田（第1町内※国道西側）・第2町内・第4町内）	72-0371
工藤 正	大井分・阿野呂	72-4637
棟棠 英俊	南学田	75-2379
佐藤 恵子	継立（3町内・4町内・AP町内・公住町内・恵北町内・松原町内・継立町内・農事組合※継北通北側）	75-2056
柴田 晃	継立（1町内・6町内・8町内・11町内・12町内・栄町内・中央町内・農事組合※継北通南側・町内会に属さない区域）	75-2451
沼山千代子	日出	75-2438
高橋 慎一	御園	75-2826
大坪 昇	南角田・円山・東山・滝下	75-2274
山本 光子	全地区担当・主任児童委員	72-4109
安藤 晴美	全地区担当・主任児童委員	72-1470